

臨床研究へのご協力をお願い

研究課題名：

認知症専門棟における認知症高齢者の転倒・転落と Dementia Behavior Disturbance Scale の関連性

研究所属部署：介護老人保健施設ひむか苑

研究責任者：支援相談員 宮永陽亮

研究目的：本研究は、認知症専門棟における転倒・転落リスクと認知症に伴う行動障害や心理症状（BPSD）評価指標である Dementia Behavior Disturbance Scale（以下、DBD）との関連性を検討します。DBD の各項目および合計点数と転倒の有無との関係を分析します。

研究方法

- ① 対象：2021 年 4 月から 2024 年 10 月に当施設の認知症専門棟に入所した 119 名を予定しています。
- ② 方法：対象となる方の電子カルテから以下の項目について調査します。（年齢、性別、介護度、Mini-Mental State Examination、Barthel Index、障害高齢者の日常生活自立度、高齢者自立度、認知症高齢者の日常生活自立度、転倒/転落の有無を診療記録から抽出しそれぞれの関係性を調べます。
- ③ 期間：倫理審査承認日～2026 年 3 月 31 日までとします。

本研究は介護老人保健施設ひむか苑倫理委員会により承認された後ろ向き研究です（倫理承認番号：20250820-1）。

研究の実施にあたっては、対象者の新たな負担（費用や検査など）は一切ありません。また個人が特定されることのないように対象者の個人情報については法令に基づいて適切に処理します。この研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌などに発表する可能性がありますが、発表する場合はプライバシーに慎重に配慮しますので、個人を特定できる情報が公表されることはありません。研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究にカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へ同意撤回の旨をご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。撤回の時期が、データを匿名化した後や研究成果を公表した後の場合には、同意の撤回に従った措置を講じることが困難となりますのでご理解下さい。

相談窓口（平日 9 時から 17 時）

介護老人保健施設ひむか苑 連絡先：0985-47-3434

研究担当者：宮永陽亮（支援相談員） 共同研究者：高橋章大、甲斐昌幸、谷口勝代
